

会 議 録

I 附属機関等の会議の名称

松川町自治体経営審議会(第 3 期第 5 回/平成 22 年度第 2 回)

II 開催日時

平成 22 年 12 月 13 日(月) 午後 7 時 00 分から午後 8 時 20 分まで

III 開催場所

松川町役場 2 階協議会室

IV 出席者氏名

荻原正義会長、尾曾元広副会長、近藤保穂委員、佐藤和仁委員、原文子委員  
宮下繁委員、吉田豊委員、米沢正幸委員(欠席:久保田志げ子委員、宮下彰委員)  
事務局:吉沢澄久総務課長、片桐雅彦企画財政係長、田辺哲哉主任

V 議題(公開)

- ・第 2 次自治体経営改革プラン原案について
- ・答申について
- ・その他

VI 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

VII 傍聴人の数

0 人

VIII 会議資料の名称

- ・第 2 次自治体経営改革プラン原案[事前配布]
- ・松川町自治体経営改革プランの進捗状況について[当日配布]

IX 審議の概要

- 1 開会 (事務局)
- 2 挨拶 (荻原会長)
- 3 議事

(1)第 2 次自治体経営改革プラン原案について  
事務局より説明

## 一第1部 序論

(委員)

未収金が多額であるが、滞納者の個人法人の別などの状況など、その原因がわかる資料が掲載されていない。

(委員)

不能欠損額についても記載すべきではないか。

(事務局)

町民税の増化傾向について税目別情報と不能欠損額についても記述を加えたい。

(委員)

松川 IC 駐車場の増収効果は経費分を差し引くべきではないか。

(事務局)

維持管理経費は有料化以前以後も必要なため使用料増収額を効果額と見込んだが、有料化に係る経費は差し引き表示する。

(委員)

広告掲載事業の費用対効果は如何か。

(事務局)

媒体は、町ホームページバナーや広報まつかわ、封筒類とし、人件費を含む事務的経費は希少であり、収入額は多額ではないが費用対効果は高いと判断している。

(委員)

審議会等への住民参画を進めるとしているが、町附属機関の答申について、保育園統合や学校給食室改築では、答申内容とは異なる結果となった施策がいくつか散見されるが、本来答申は尊重されるべきものではないか。

(事務局)

施策方針の決定は行政側に委ねられており、答申と異なる結果もあり得る。

但し、指摘された2つの諮問方法が、白紙諮問であったことがこの結果につながったとも推察されるので、諮問方法等については改善の余地があると考えている。

## 一第2部 第1次改革プランの総括

(委員)

定住対策室は産業振興課内室とあるが、室長が係長クラスであると、横断的な組織機構といえないのではないか。

(事務局)

定住対策室長は係長クラスであり、産業振興課長の部下である。

(委員)

水道事業について、広報まつかわ2010年11月号によれば「料金回収率が県平均と比較すると、大きく下回っています。」とあり、健全経営に対する取組は資産管理(アセットマネジメント)だけの問題ではないのではないか。

(事務局)

水道事業経営については、水道事業経営審議会において、本年度審議を行うこととしてい

る。

(委員)

民間委託の委託先にあつては、地域内事業者や雇用につながるものとなるよう配慮する必要がある。

(2) 答申について

事務局より説明、配布様式により、留意事項等について提出を求める。

(3) その他

(事務局)

本日指摘された事項については、修正案をパブリックコメント実施前に委員へ送付し確認を行う。

今回は来年 2 月頃を想定している。

4 閉会 (尾曾副会長)